

都市構造可視化を使ってみて



京都府向日市まちづくり推進課

1.はじめに

向日市（むこうし）の概要 ～かつて“都”長岡宮があった地～



<向日市の位置>

全国の中で3番目に小さい
西日本では1番小さい

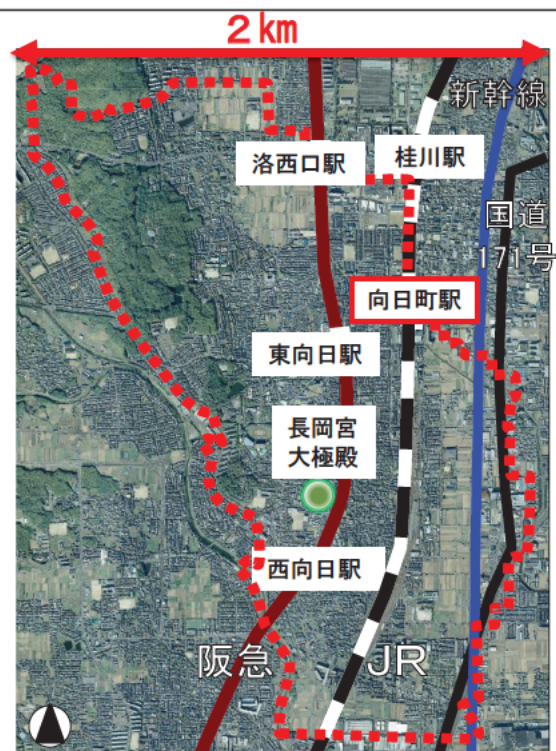
人口：57,000人

面積：7.72km²

京都駅まで8分
大阪駅まで35分



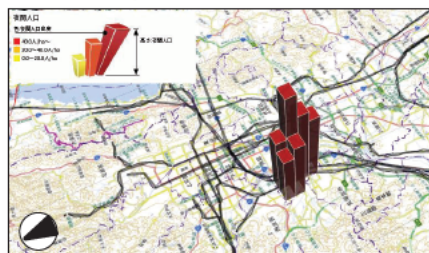
4 km



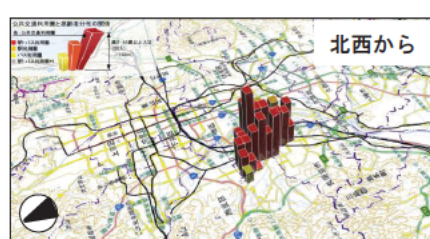
2. 現 状

向日市の現状を可視化データで確認

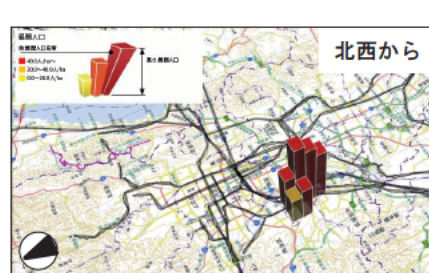
夜間人口



公共交通利用圏



昼間人口



浸水想定区域

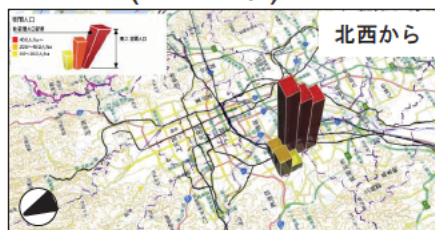


夜間人口 > 昼間人口 市内全域が駅・バスの利用圏内
市東部の一部に浸水深の深いところがある。西部は、浸水しない

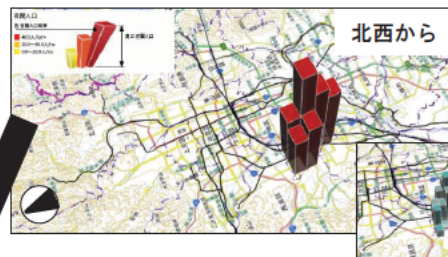
3. 経年変化

向日市の経年変化を可視化データで確認

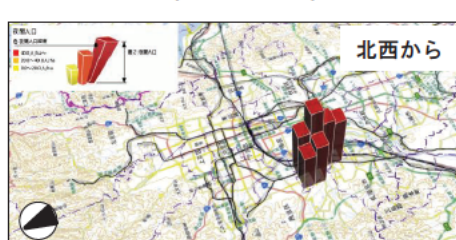
人口の経年変化
(1970年)



(2015年)



(2050年)



人口における高齢者の割合
(2050年)



2050年においても市内全域がDID区域となる
人口が減少し、高齢化率が上がる将来が見て取れる

4. JR向日町駅東口開設推進事業

○目的

駅への利便性や安全性を向上させるとともに、まちの活性化や駅周辺のにぎわいの創出を目指し、東口開設に向けた自由通路や駅前広場の整備、駅周辺における新たなまちづくりに取り組んでいます。

○経過・予定

令和2年度 都市計画の決定・変更
令和3年度 JR西日本と工事協定締結
市街地再開発組合の設立
令和8年度 東口開設
令和10年度 まち開き、駅前広場完成



J R向日町駅（西側）



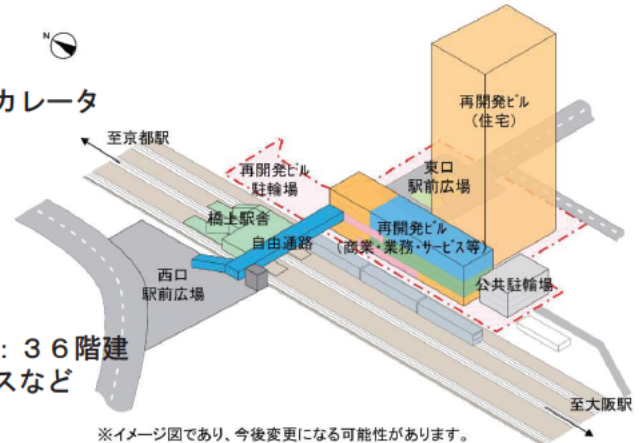
J R向日町駅（東側）

○自由通路整備事業の概要

- ・事業主体：向日市
- ・事業期間：令和3年度～令和9年度
- ・整備内容：通路／延長約60m・幅員5m
昇降施設／階段、エレベータ、エスカレータ

○市街地再開発事業の概要

- ・事業主体：市街地再開発組合
- ・事業期間：令和3年度～令和11年度
- ・整備内容：東口駅前広場／面積約2,400㎡
再開発ビル
延床面積／約46,300㎡
階数／駅ビル棟：5階建 住宅棟：36階建
用途／住宅・商業・業務・サービスなど

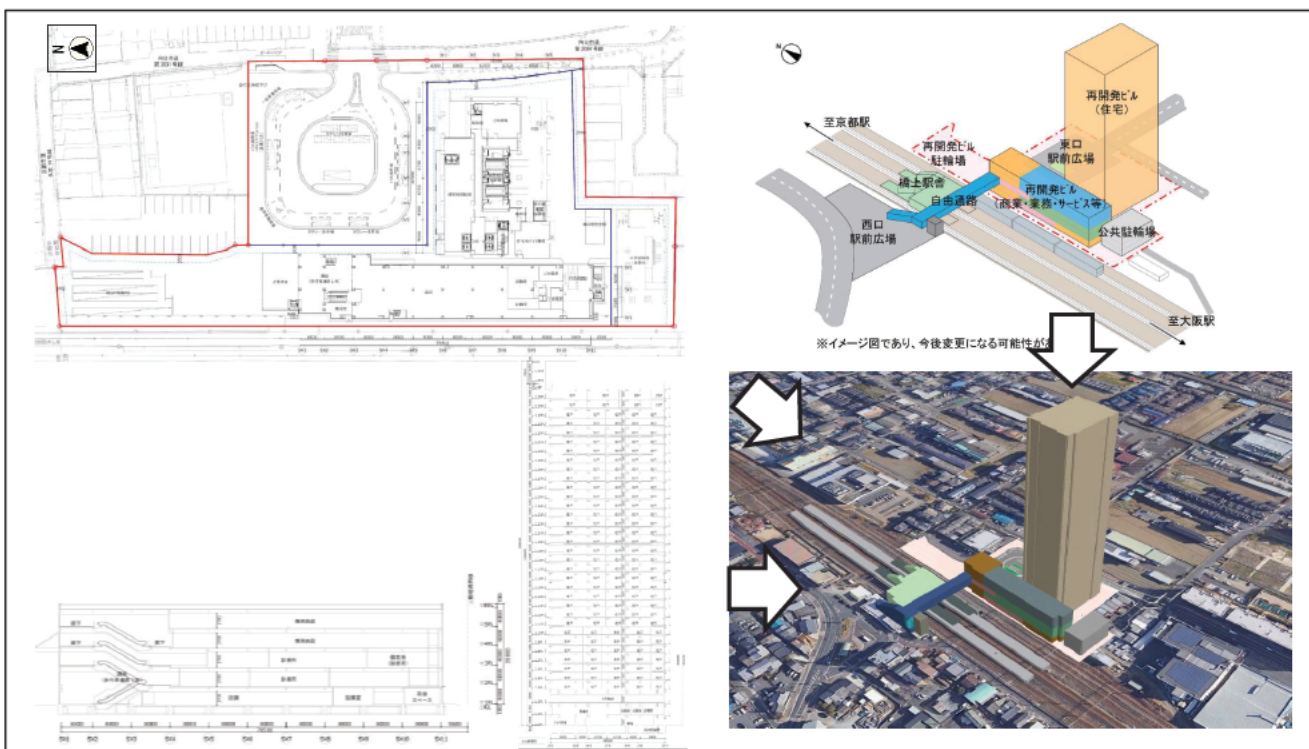


※イメージ図であり、今後変更になる可能性があります。

5. JR向日町駅東口開設推進事業を可視化

現状 → 平面図、断面図、イメージ図での説明。

+α → 可視化した完成後のイメージにて、さらに理解を深めていただく。



6. 今後の活用と課題

○担当業務への活用

- ・ 地区計画によるまちづくりを行う際のイメージ案作成
初期段階において、検討や合意形成を進める一助となれば
- ・ 新規事業のイメージ案の作成
連続立体交差事業、スマートIC整備事業など

○今後の課題

- ・ スキル向上
- ・ 庁内職員への普及・機運醸成
立適の見直し時への活用
他の部局での政策検討活用



i-都市交流会議2022

7

京都府向日市（むこうし）

都市の紹介



竹の径



かぐやのタベ



向日神社（秋）



AR長岡京

i-都市交流会議2022

8